

### 三 しゃぼん玉ふわり

タツくんのシャボン玉は魔法です。だって、おうちの庭でタツくんがシャボン玉をふくと、きまつてチヨウチヨが飛んでくるんですから。

もともと、タツくんのおうちの庭には、花がいっぱい咲いています。お父さんもお母さんも、花が大好きで、毎年、いろんな花を育てます。

だから、季節があたたくになると、モンシロチヨウやアゲアチヨウがぴらぴらとやってきます。

そんなときに、タツくんがシャボン玉をふきます。

すると、チヨウチヨはタツくんのそばまでまってきた、シャボン玉と遊んでいくのです。ぴらぴら、ぱたぱた……。ときどき、羽をとめて、すーっと下がったり。

でも、ほんとうはタツくんは知っています。シャボン玉作りにつかう台所の洗剤が、お花のようにとってもいいにおいがするってこと。

お母さんは、タツくんに注意します。

「あまいにおいがしても、ぜったいにのんだりしちゃだめよ」って。

「そんなのわかってるよお。だって、ぼく、もう一年生だよ」

タツくんは、ほっぺたをふくらめます。

でも、チヨウチヨはわかっているでしょうか？おいしそうなにおいだと思って口をのばしたら洗剤だったなんて、ちょっとかわいそうです。

タツくんは、またシャボン玉をふきます。シャボン玉をふきながら、「チヨウチヨさん。あまいにおいがしても、シャボン玉たべないでね」お母さんのまねをして、そう心の中でつぶやきます。

すると、そんなタツくんの心が聞こえたかのように、チヨウチヨは、シャボン玉からはなれていきます。

チヨウチヨと話せる、ふしぎなシャボン玉。やっぱり、タツくんのシャボン玉は魔法なのです。